

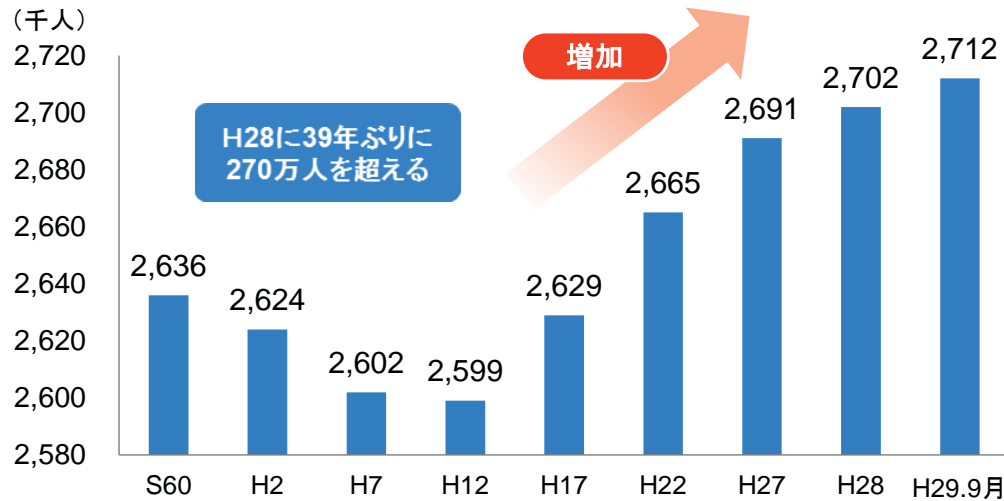
# 大阪市の概要① ～人口・地価～

面積	225.21km <sup>2</sup>	(H28全国都道府県市区町村別面積調)
人口	271万2,156人	(H29.9月 大阪市推計人口)
世帯数	135万2,413世帯	(H27国勢調査)
市内総生産(名目)	19兆 760億円	(H26大阪市民経済計算)
事業所数	18万9,234事業所	(H24経済センサス活動調査結果)

## 最近の人口の推移

市域中心部の人口増加が顕著！＝人口の都心回帰

### 大阪市の人口推移(夜間人口)

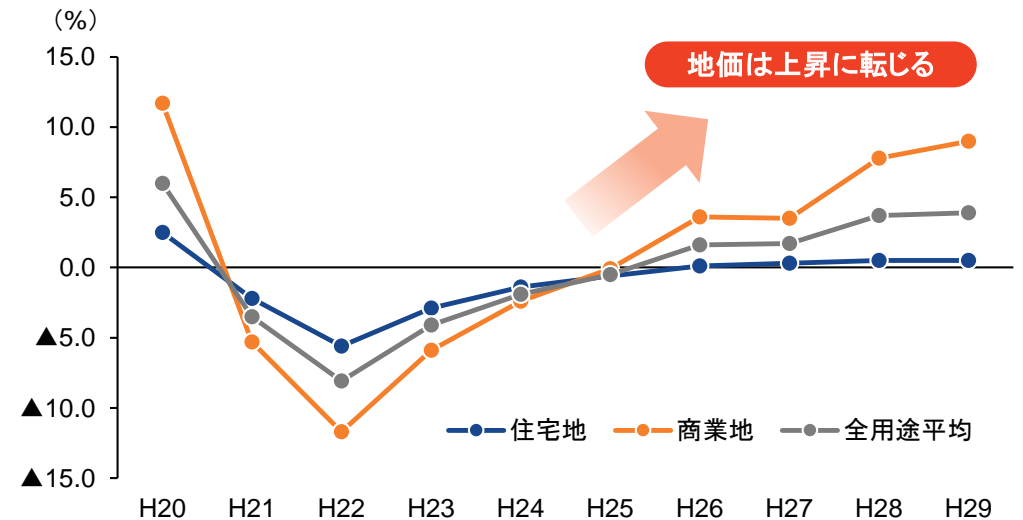


資料:平成27年国勢調査、大阪市推計人口

## 最近の地価の推移

平成20年9月のリーマンショックを契機とする地価の下落率は縮小しており、26年度から上昇に転じている

### 大阪市の地価公示における用途別の平均変動率の推移



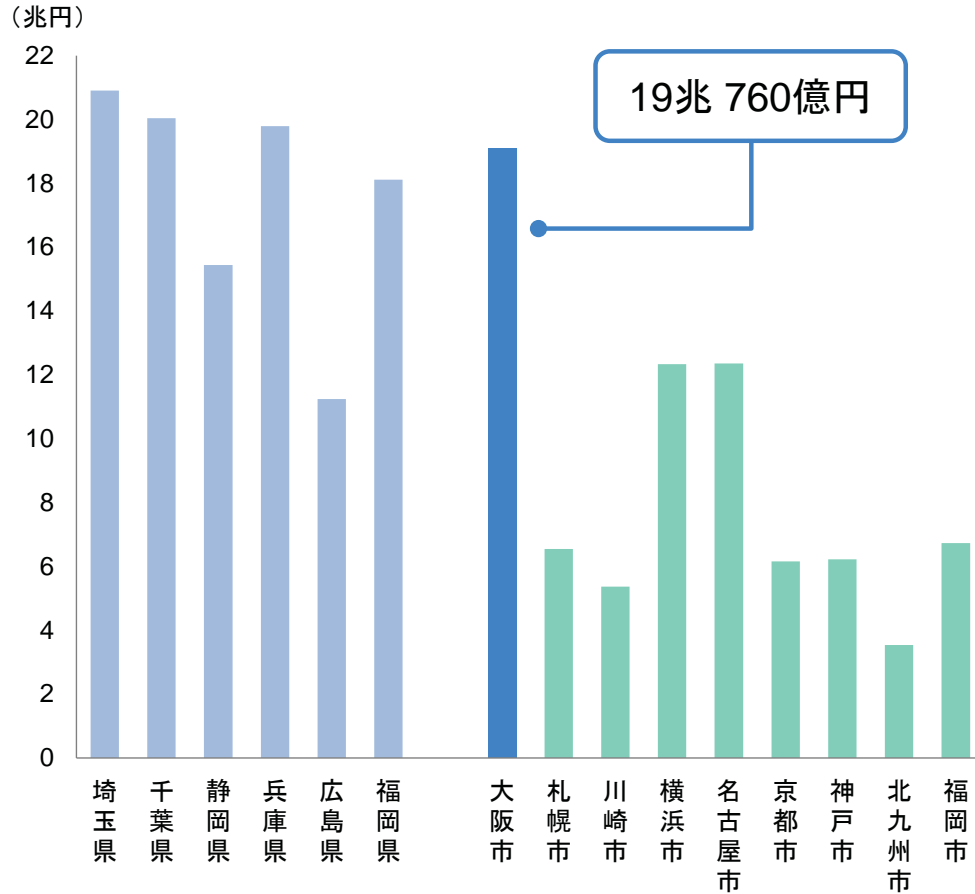
資料:平成29年地価公示

# 大阪市の概要 ② ～市内総生産～

## 市内総生産

### 域内総生産(名目)の比較

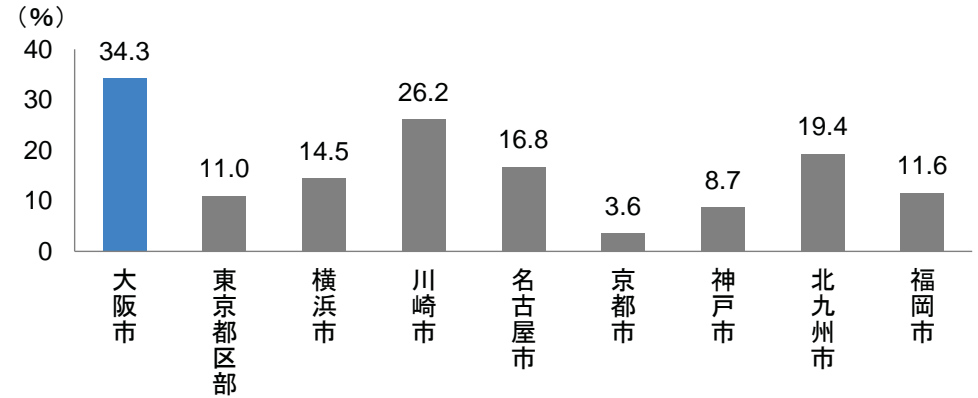
- 政令指定都市の中では突出して大きい経済規模
- 埼玉県や千葉県など首都圏や地方の大規模県とも肩を並べる



資料:平成26年度県民経済計算

### 課税総面積に占める商業+工業地区割合

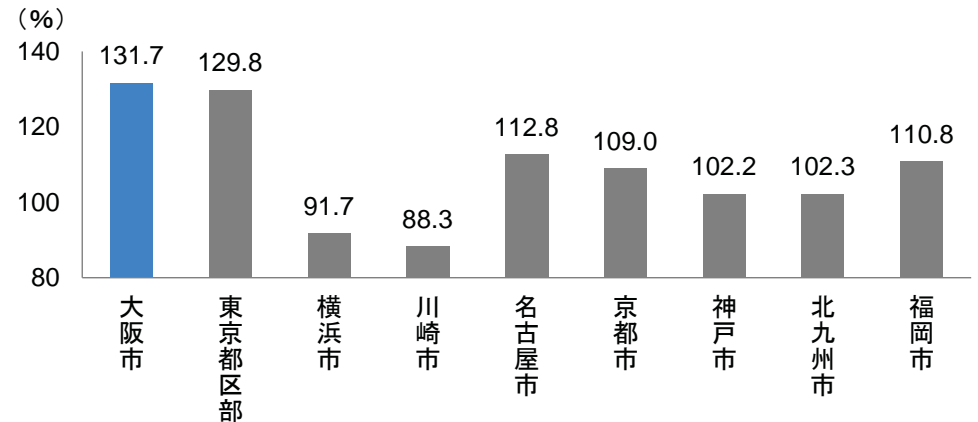
- 大阪市の土地利用は他都市に比べて産業用が主体



資料:大阪の経済2017年版

### 昼間人口の割合

- 昼間人口は他都市と比べて多く、経済活動が活発

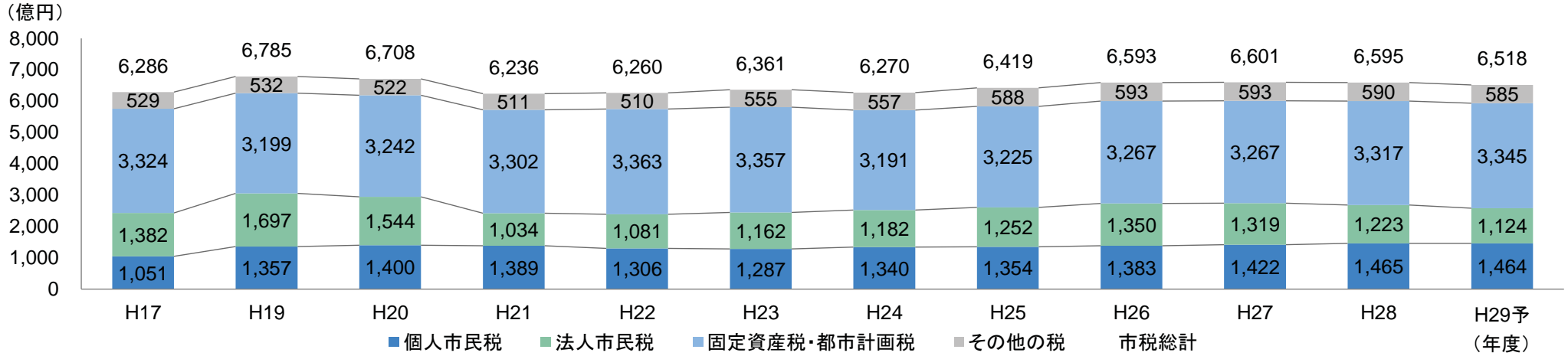


資料:平成27年国勢調査

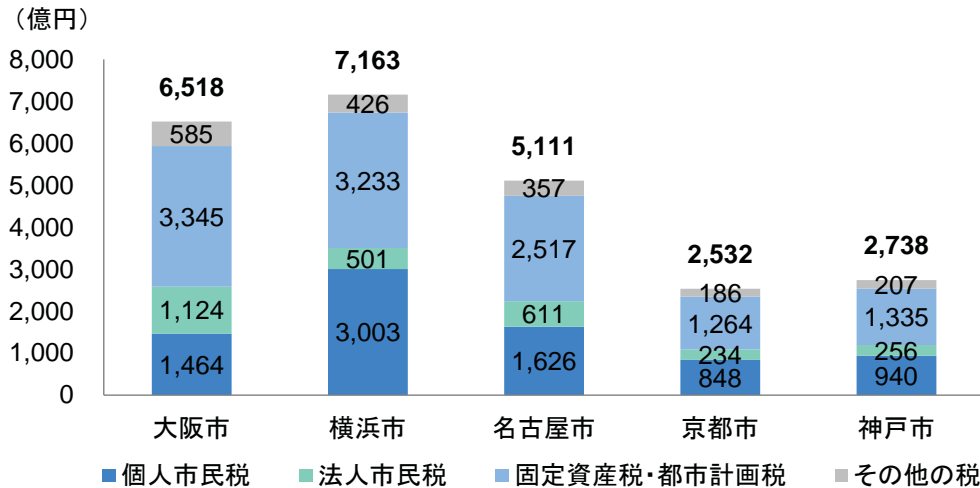
# 市税収入の推移

## 大阪市の市税収入の特徴

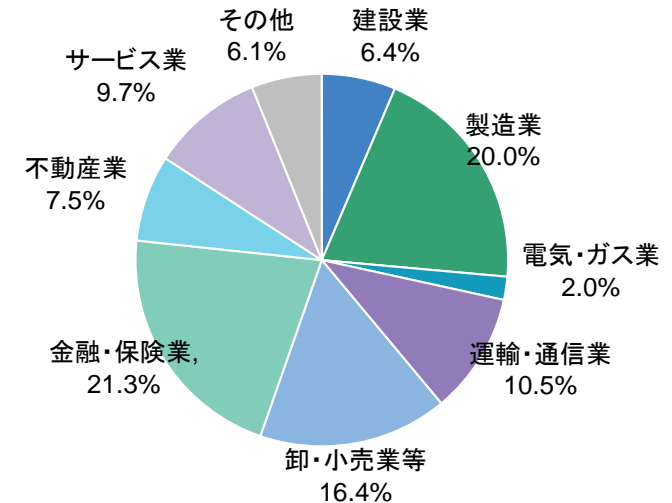
■ 産業の高度な集積により、他の政令市と比較し、市税総額に占める法人市民税の割合が大きい



### 市税総額のお都市比較(平成29年度予算)



### 法人市民税の業態別割合(平成28年度)



# 変革する都市・大阪と今後の成長戦略① ～観光戦略(1)～

## 大阪市の観光資源 ～伝統文化に加え、テーマパークなど新たな魅力が充実



USJ



©Osaka Convention & Tourism Bureau

大阪城



©Osaka Convention & Tourism Bureau

道頓堀



©Osaka Convention & Tourism Bureau

国立文楽劇場



©Osaka Convention & Tourism Bureau

海遊館

※平成28年度のUSJ年間来場者数 約1,460万人(3年連続過去最高を更新、新聞報道より)

※平成28年度の大阪城天守閣年間入館者数 約256万人(2年連続過去最高を更新)

### 大阪都市魅力創造戦略2020

大阪の良好なアクセス性や居心地の良さ、**関西の豊富な観光資源**を活かし、大阪を関西の**観光インバウンド拠点**とする

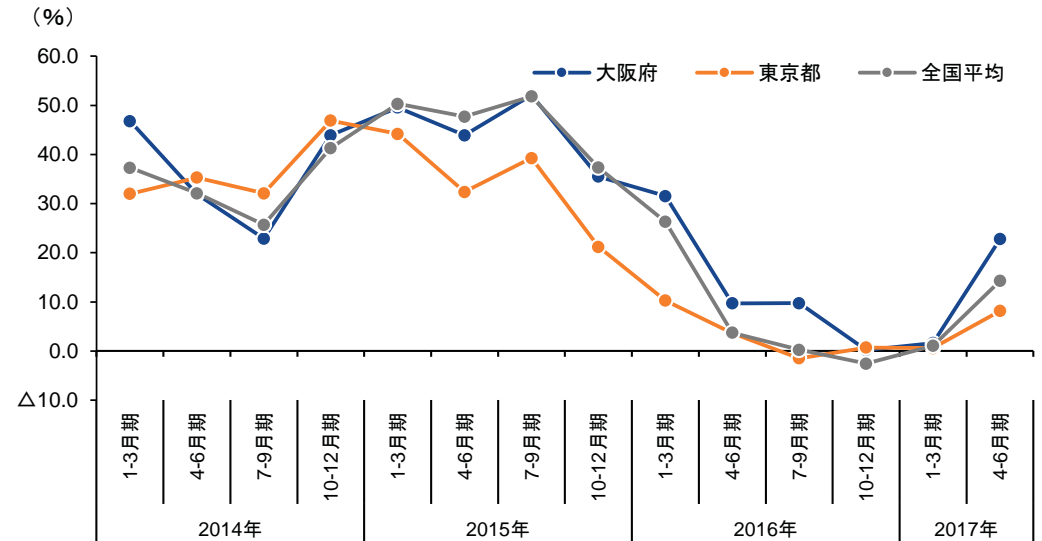
#### 来阪外国人旅行者数の数値目標

2011年	2016年 (中間目標)	2020年 (当初目標)	↑ 修正 →	2020年 (新目標)
158万人	450万人	650万人		

実績	2015年	2016年
	716万人	941万人

資料:大阪観光局

### 外国人延べ宿泊者数の伸び(前年同期比)



全国平均を上回る高い伸び

# 変革する都市・大阪と今後の成長戦略① ～観光戦略(2)～

## 2025日本万国博覧会の誘致について(概要)

### 国際博覧会とは

BIE(博覧会国際事務局)の承認のもと、国際博覧会条約に基づき開催される国際博覧会。登録博覧会と認定博覧会の2種類があります。

**登録博覧会** 5年に1回開催(期間は6か月以内)  
 【国内での開催実績】大阪万博(1970)、愛知万博(2005)  
 【前回開催】ミラノ万博(2015)、【次回開催】ドバイ万博(2020)

(参考) **認定博覧会** 2回の登録博の間に1回開催(期間は3か月以内)  
 【国内での開催実績】 沖縄国際海洋博覧会(1975)  
 国際科学技術博覧会(1985)  
 国際花と緑の博覧会(1990)

### 2025日本万国博覧会開催概要

**テーマ** いのち輝く未来社会のデザイン  
 “Designing Future Society for Our Lives”

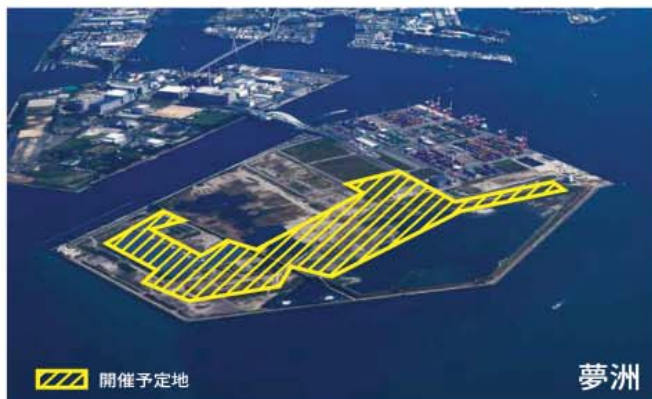
**サブテーマ** ・多様で心身ともに健康な生き方  
 ・持続可能な社会・経済システム

**開催期間** 2025年5月3日～11月3日(6か月間)

**目標入場者数** 約3000万人

**開催場所** 夢洲(大阪市此花区/約100ha)を想定

**アクセス** 地下鉄中央線の延伸(計画)、主要駅からのシャトルバスの運行等を想定



開催予定地

夢洲

#### 万博誘致委員会と誘致活動

万博誘致実現に向けて、官民一体となったオールジャパン体制を構築

**名称** 2025日本万国博覧会誘致委員会(2017年3月27日設立)  
**会長** 榊原経団連会長 **会長代行** 松井知事、松本関経連会長  
**副会長** 吉村市長、井戸広域連合会長、尾崎大商会頭、黒田同友会代表幹事、鈴木同代表幹事、京都商工会議所会頭、神戸商工会議所会頭など  
**委員** 各企業及び府議会議長、市議会議長など

#### 誘致ロゴマーク



※ロゴマークを使用する場合は、2025日本万国博覧会誘致委員会事務局までお問い合わせください。☎06-6944-6573

### スケジュール



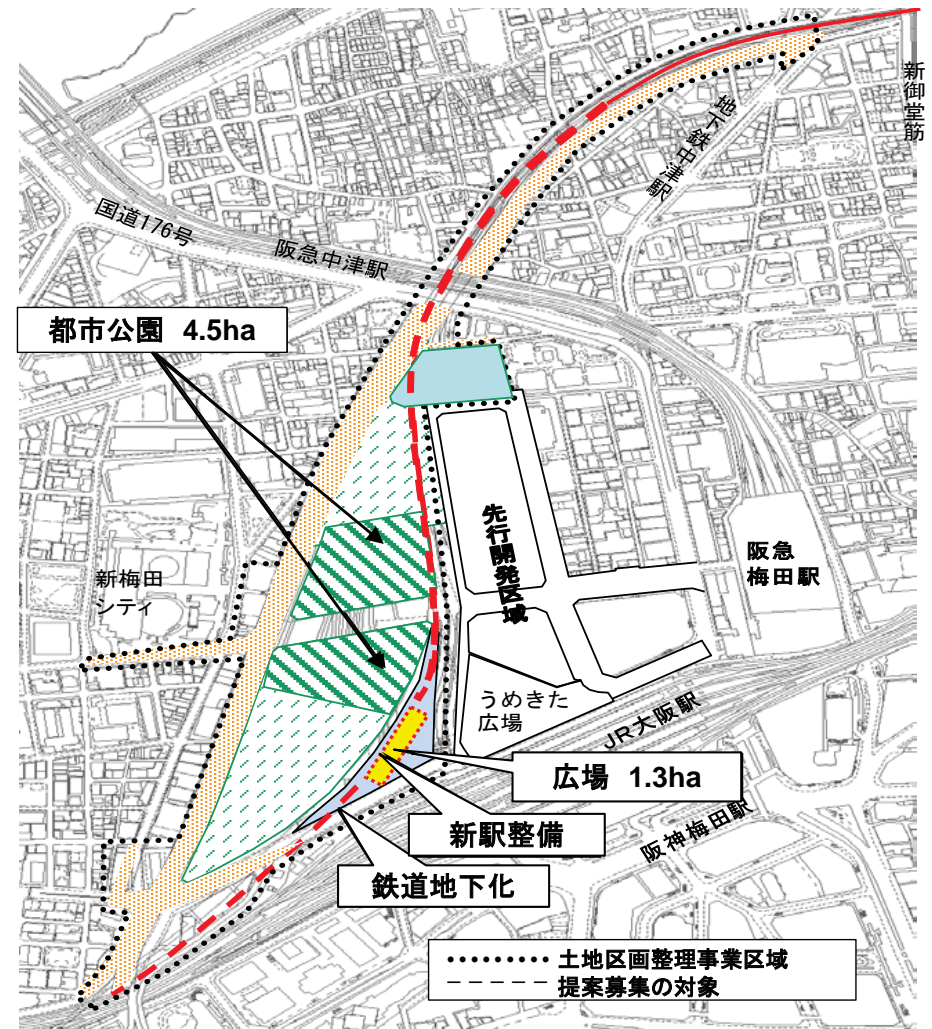
# 変革する都市・大阪と今後の成長戦略 ② ～うめきた2期区域のまちづくり～

まちづくりの方針に基づく、質の高いまちづくりの実現に向け、都市基盤整備等を推進し、我が国の国際競争力の強化に資する拠点を形成



事業	JR東海道線支線地下化事業 新駅設置事業	土地区画整理事業	都市公園整備事業
事業費 (総事業費: 1,154億円)	<b>【地下化】</b> 540億円	<b>【合計】</b> 262億円	<b>【合計】</b> 202億円
	国 238.5億円	国 81億円	国 67億円
	市負担 238.5億円	府市負担 81億円	府市負担 135億円
	JR 63億円	保留地処分金 100億円	
	<b>【新駅】</b> 150億円		
	国 49億円		
	府市負担 49億円		
	JR 52億円		
事業期間	2014年度～2023年度	2015年度～2026年度	2018年度～2026年度

	2014年度	2015年度	2016年度～2022年度	2023年度～2027年度
基盤整備	認可	鉄道地下化・新駅設置工事		開業
		認可	土地区画整理事業(道路等の基盤整備工事)	
民間開発	まちづくりの方針		民間事業者募集 【2次募集】	事業者の決定
				2024年夏頃から 先行まちびらき

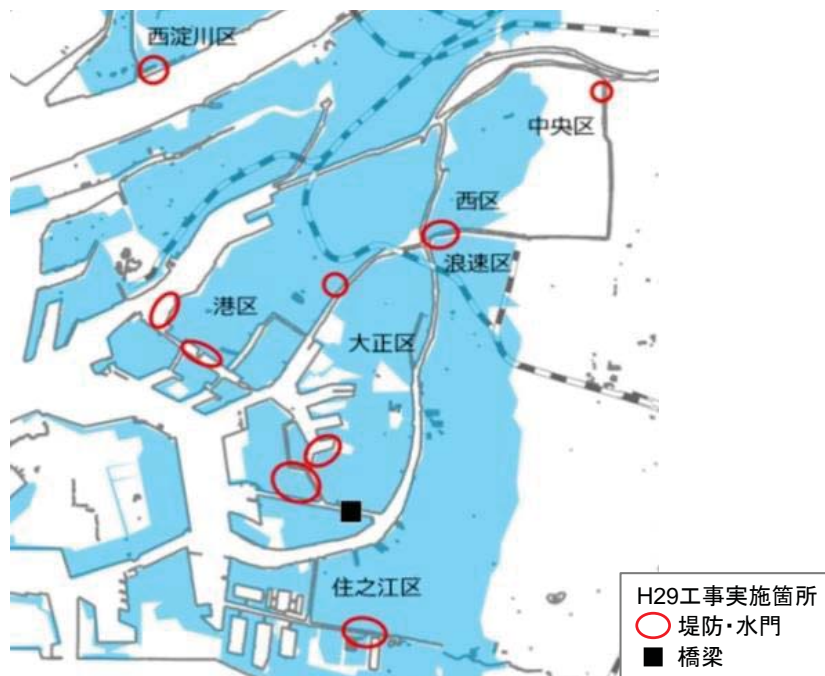


※先行開発区域(グランフロント大阪):開業4年弱で来場者数2億人突破

# 市民生活の安全・安心の確保のための取り組み

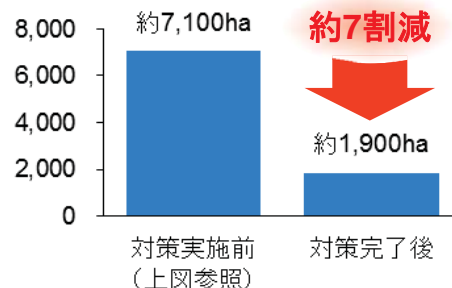
## 堤防・橋梁等の耐震対策の推進

### 工事実施箇所と津波浸水想定区域



### 堤防等の耐震対策の事業効果

- 対策完了後、大阪市域の浸水面積は約7割減
- うち避難していない人が100%死亡すると仮定される浸水深1m以上の面積は、約4,300haから約500haと、約9割減



南海トラフ巨大地震及び津波の被害想定を踏まえ、府市連携して堤防・橋梁等の耐震対策に取り組む

総事業費(大阪市内)

事業期間

644億円

平成26年度から  
概ね10年程度

### 堤防等の耐震対策

- 南海トラフ巨大地震による津波浸水想定では、液状化に伴う堤防沈下により市域全体の約3分の1が浸水する結果
- 堤防の液状化対策等を「南海トラフ巨大地震対策の大きな柱」として位置づけ、平成26年度から府市の港湾・河川部局が連携して液状化対策等に取り組んでおり、概ね10年程度での整備完了をめざす

### 橋梁等の耐震対策

- 災害時の緊急交通路及び避難路に架かる橋梁等について、平成26年度から地震動、津波、液状化の影響に対する安全性の確認を推進
- 平成29年度は、地震動対策については基本設計、津波対策については工事、液状化対策については土質調査等を実施